

No. 1672

クジラ飛ぶ

—— 羽田 ——

クジラをデザインした全日空の「マリンジャンボ」の初便出発式が9月12日に羽田空港で行われました。全国の小中学生が応募した2万点の中から「海の子どもの夢をジャンボに」という千葉県・大垣友紀恵さん(12)のデザインが選ばれました。出発式で最優秀賞の記念品を受け取ったあと優秀賞の仲間とテープカット。つづいて大垣さんは機体に記念のサイン。札幌行きの初便は満席で乗客の列が続きます。関係者の見送る中を出発した「マリンジャンボ」、これから1年間日本各地に就航し子供たちの人気を呼ぶことでしょう。

秋に描く

—— 箱根 ——

秋を迎えた箱根の芦の湖。真夏日が平年の半分以下だった夏を過ぎても秋の空が見られない日が続きます。しかし天気は左右されずに人気のあるのは5年前に丘の上に建てられた成川美術館。ガラス張りの展望室からの芦の湖の眺めの素晴らしさと共に平山郁夫、山本丘人、加山又造など現代日本画のトップの絵画が常設展示されています。またコレクターでもある館主が有望な画家の絵をあつめて個人展も行われています。現在、「路」をテーマにした平松礼二展が開かれています。平松礼二さんは52歳、東京生まれの名古屋育ちで中学時代から画家を目指し、19歳で川端龍子の青龍社展に初入選、横山操を目標に精進し第一回中日大賞、MOA優秀賞など数々の賞を受賞しています。今日は奥さんと一緒にサイン会に出席して著書にサインする平松さん。「雲の動きが面白い」とサイン会の合間にスケッチブックを取り出し写生をはじめます。「苦痛は人間の偉大な教師である」というエッセンバッハの言葉を絵に生かしたいと願う平松さん。永く住みなれた名古屋から鎌倉に転居して「心機一転」を期す平松さんの画業に期待したいものです。